



# 「十字架のことば（上）」

— 十字架上の七つの祈り —

大阪月例会メッセージ 2012年9月～12月

メッセージ：中川健一

# 目次

|  |    |
|--|----|
| 十字架のことば（1） — イントロダクション — .....         | 1  |
| I. 十字架とはどのようなものか .....                 | 2  |
| II. イエスはなぜ十字架で死んだのか .....              | 6  |
| 結 論 .....                              | 9  |
| 十字架のことば（2） — 第1のことば：赦しの祈り — .....      | 11 |
| I. この祈りと旧約聖書の関係は？ .....                | 12 |
| II. この祈りは、誰のためのものか？ .....              | 13 |
| III. この祈りは、聞かれたのか？ .....               | 15 |
| 結 論：この祈りの現代的意味 .....                   | 16 |
| 十字架のことば（3） — 第2のことば：救いを約束することば — ..... | 19 |
| I. 十字架を取り巻く人々 .....                    | 20 |
| II. 十字架に付けられたイエス .....                 | 22 |
| III. イエスを見る2つの目 — ①不信仰の目 .....         | 23 |
| IV. イエスを見る2つの目 — ②信仰の目 .....           | 24 |
| 結 論：このことばの現代的意味 .....                  | 26 |
| 十字架のことば（4） — 第3のことば：愛のことば — .....      | 27 |
| I. 愛の力 .....                           | 28 |
| II. 愛の飛躍 .....                         | 31 |
| 結 論：このことばの現代的意味 .....                  | 32 |

## 十字架のことば (1) — イントロダクション —

### 1. はじめに

- (1) 十字架は、キリスト教のシンボルである。
  - ①最初は、魚がシンボルであった。
    - \*ギリシヤ語で「ΙΧΘΥΣ」(イクトス)
    - \*イエス・キリスト、神の子、救い主。
  - ②紀元2世紀以降、十字架がシンボルとなる。
    - \*十字架は、神の愛のシンボルである。
  
- (2) イエス・キリストは、十字架上で7つの祈りをされた。
  - ①1990年に「十字架のことば」のメッセージシリーズを語った。
  - ②それから22年後、再度、この試みに挑戦する。
  - ③今回を含めて、合計8回のメッセージとなる。

### 2. アウトライン

- (1) 十字架とはどのようなものか。
- (2) イエスはなぜ十字架で死んだのか。

### 3. 結論

- (1) 十字架のことばの愚かさ
- (2) 私たちの応答

このメッセージは、十字架の意味について考えるものである。

## 1. 十字架とはどのようなものか

### 1. 十字架の種類

(1) ギリシヤ語で、スタウロス。2つの意味がある。

- ①一本の木
- ②縦木と横木を組み合わせたもの。
- ③新約聖書では、②の意味でこの言葉が使用される。

(2) 4つの型

- ①一本の木
- ②T字型
- ③X字型
- ④十字型（ラテン型。ギリシヤ型の場合は、縦横同じ長さ）

### 2. モーセの律法の規定

(1) 旧約聖書には出てこない。

- ①生きたまま木に付けることはなかった。
- ②警告のために、死体を木にさらすことは、あった。

(2) 申命記 21：22～23

「もし、人が死刑に当たる罪を犯して殺され、あなたがこれを木につるすときは、その死体を次の日まで木に残しておいてはならない。その日のうちに必ず埋葬しなければならない。木につるされた者は、神にのろわれた者だからである。あなたの神、【主】が相続地としてあなたに与えようとしておられる地を汚してはならない」

- ①木につるされた者は、神にのろわれた者である。

- ②死体は、日没までに、必ず埋葬しなければならない。
- ③地を汚さないためである。

### 3. 十字架刑の歴史

(1) アッシリヤとペルシヤで始まった刑である。

- ①それが、ギリシヤ人に受け継がれた。  
\*アレクサンドロス大王が採用した。

(2) ローマ人が、十字架刑を完成させた (マニュアル化した)。

- ①非常に残酷<sup>ざんこく</sup>な刑である。
- ②苦痛を長引かせて死に至らせる刑である。
- ③見せしめの刑である。
- ④非ローマ人、奴隷などに適用される刑である。
- ⑤ローマ市民は除外された。  
\*ペテロは十字架刑で死んだ。  
\*パウロは首を切られて死んだ。

### 4. 十字架刑の手順

(1) 有罪宣言を受ける。

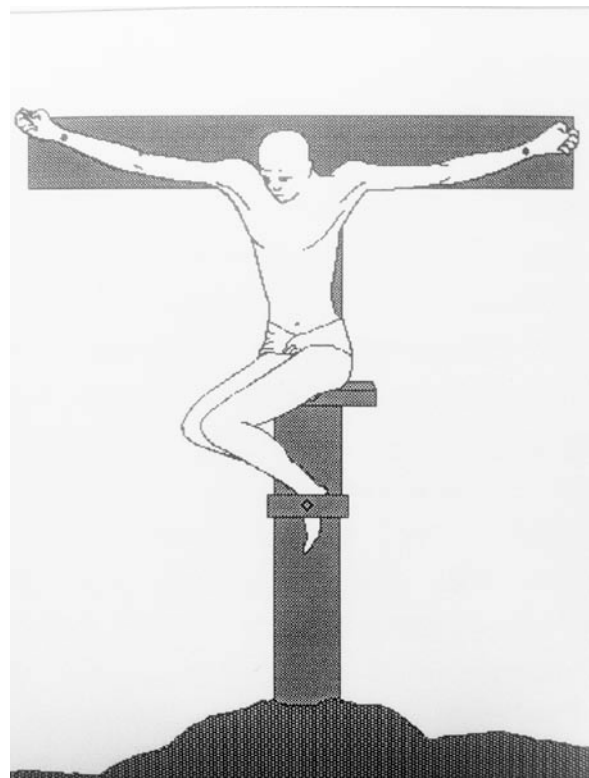
- ①それ以降の手順は、死刑執行人の判断で変わる場合もある。

(2) 横木を負って刑場に向かう。

- ①罪状書きを持った人が、罪人の前を歩く。
- ②場合によっては、罪人の首に罪状書きをぶら下げる。

## 1. 十字架とはどのようなものか

- (3) 刑場に着くと、衣服を脱がせ、鞭<sup>むち</sup>で打つ。
- ①イエスの場合は、有罪宣言の前に鞭で打たれた。
  - ②横木を負って行く体力が残っていなかった。
  - ③クレネ人シモンが代わりに横木を負わされた。
- (4) 横木に寝かされ、両手を釘付けにされた。
- ①手のひらではなく、手首に釘が打たれた。
- (5) 横木が上に引き上げられ、縦木と組み合わせられた。
- ①縦木は、すでに刑場に立てられていた。
  - ②縦木のほぼ中央に、臀部<sup>でんぶ</sup>を載せるための短い横木が付けられていた。
  - ③頭の上に、罪状書きが打ち付けられた。
- \*一本の木は、当時、パレスチナでは使用されていなかった。
- \*イエスの十字架は、T字型、X字型ではなかった。



(6) 鎮痛剤ちんつうざいが与えられた。

①通常は、酸いぶどう酒すが用いられた。

②イエスの場合は、これを拒否した。

③父なる神の御心を、鮮明な意識のままで実行するため。

\*信仰告白をした罪人への祝福のことばを、発することができた。

\*十字架上の7つの祈りは、このようにして捧げられたものである。

(7) 死に至る。

①渴きかわ、空腹げきつう、激痛げきつう、出血多量ちっそく、そして、窒息ちっそくなどにより、死に至る。

②死期を早めたい場合は、すねの骨を折る。

\*罪人は、数日から1週間以上、生き延びた。

③イエスの場合は、午前9時から午後3時まで苦しめられた。

## 5. 考古学上の発見

(1) 1968年の夏に、エルサレム近郊で、4つのユダヤ人の墓が発掘された。

①ある石棺には、十字架刑で死んだ青年の骨が納められていた。

\*この種のものとしては、唯一残存する骨である。

②発掘された土器の形状から、年代は、紀元7～66年と推定された。

(2) この骨が伝えていること

①両腕に釘が打ち込まれた。

②体重は、恐らく、臀部の下に置かれた横木で支えられたのであろう。

③足は、膝ひざを折り、横に曲げて臀部の下に置かれた。

\*私たちが見慣れているイエスの十字架の姿とは異なる。

④両足をそろえて、踵かかとの骨に1本の釘が打ち込まれた。

\*骨を支えるために、オリーブの木片が使用された。

## II. イエスはなぜ十字架で死んだのか

### イントロダクション

(1) 福音記者たちは、十字架刑の内容について、詳細には語っていない。

①当時の読者たちには、周知の事実である。

②十字架に関する、キリスト論的な理解を提供しようとしている。

\*イエスは、なぜ十字架で死んだのか。

\*それが、私たちにとってどういう意味があるのか。

(2) イエスの罪状

①ユダヤ総督のポンテオ・ピラトが、有罪宣言をした。

\*ユダヤ人が有罪宣言をしていたなら、イエスは石打の刑で死んでいた。

②ヨハネ 19：19～20

「ピラトは罪状書きも書いて、十字架の上に掲げた。それには『ユダヤ人の王ナザレ人イエス』と書いてあった。それで、大ぜいのユダヤ人がこの罪状書きを読んだ。イエスが十字架につけられた場所は都に近かったからである。またそれはヘブル語、ラテン語、ギリシヤ語で書いてあった」

\*サンヘドリンは、冒とく罪でイエスを死刑にしようとした。

\*ローマ人は、反逆罪（カエサルへの反抗）でイエスを処刑した。

\*モーセの律法によれば、イエスの死は、呪われた死である。

\*ユダヤ人もローマ人も、ともに責任がある。

\*ユダヤ人の指導者たちと、民衆の責任を、注意深く区別している。

③Ⅰコリント 1：23～24

「しかし、私たちは十字架につけられたキリストを宣べ伝えるのです。ユダヤ人にとってはつまずき、異邦人にとっては愚か<sup>おろ</sup>かでしょうが、しか



し、ユダヤ人であってもギリシヤ人であっても、召された者にとっては、  
キリストは神の力、神の知恵なのです」

\*十字架は、ユダヤ人にとってはつまずきである。

\*異邦人にとっては、愚かである。

\*なぜ初期の信者たちは、「イエスは主なり」と告白するようになったのか。

## 1. イエスの死は、人類の罪を贖うためのものである。

(1) ローマ 3 : 25

「神は、キリスト・イエスを、その血による、また信仰による、なだめの  
供え物として、公にお示しになりました。それは、ご自身の義を現すため  
です。というのは、今までに犯されて来た罪を神の忍耐をもって見のがし  
て来られたからです」

①十字架は、救いの土台である。

## 2. イエスの死は、モーセの律法を終わらせた。

(1) ガラテヤ 3 : 13

「キリストは、私たちのためにのろわれたものとなって、私たちを律法の  
のろいから贖い出してくださいました。なぜなら、『木にかけられる者はす  
べてのろわれたものである』と書いてあるからです」

## 3. イエスの死は、キリストの教会を産み出した。

(1) エペソ 2 : 14~16

「キリストこそ私たちの平和であり、二つのものを一つにし、隔ての壁を

打ちこわし、ご自分の肉において、敵意を廃棄された方です。敵意とは、さまざまの規定から成り立っている戒めの律法なのです。このことは、二つのものをご自身において新しいひとりの人に造り上げて、平和を実現するためであり、また、両者を一つのからだとして、十字架によって神と和解させるためなのです。敵意は十字架によって葬り去られました」

#### 4. イエスの死は、信者の内に起こることを示している。

##### (1) 信者が受ける洗礼の意味

###### ①死の体験

\*罪に対して死んだ（ロマ 6：6）。

\*この世に対して死んだ（ガラ 6：14）。

###### ②復活の体験（新しいいのちの始まり）

#### 5. イエスの死は、復活によってその信頼性が証明された。

##### (1) ヨハネ 3：14

「モーセが荒野で蛇を上げたように、人の子もまた上げられなければなりません」

①死そのものが、高揚につながっている。

##### (2) ヨハネ 12：32～33

「わたしが地上から上げられるなら、わたしはすべての人を自分のところに引き寄せます。イエスは自分がどのような死に方で死ぬかを示して、このことを言われたのである」

①十字架と、復活、昇天が、ひとつのものとなっている。

## 結 論

### 1. 十字架のことばの愚かさ

- (1) 神の計画は、この世の知恵から見ると、愚かに思える。
- (2) 神は、逆説的に、神の力を啓示された。
- (3) 1コリント 1：18～25

「十字架のことばは、滅びに至る人々には愚かであっても、救いを受ける私たちに、神の力です。それは、こう書いてあるからです。『わたしは知恵ある者の知恵を滅ぼし、賢い者の賢さをむなしくする』。知者はどこにいるのですか。学者はどこにいるのですか。この世の議論家はどこにいるのですか。神は、この世の知恵を愚かなものにされたではありませんか。事実、この世が自分の知恵によって神を知ることがないのは、神の知恵によるのです。それゆえ、神はみこころによって、宣教のことばの愚かさを通して、信じる者を救おうと定められたのです。ユダヤ人はしるしを要求し、ギリシヤ人は知恵を追求します。しかし、私たちは十字架につけられたキリストを宣べ伝えるのです。ユダヤ人にとってはつまずき、異邦人にとっては愚かでしょうが、しかし、ユダヤ人であってもギリシヤ人であっても、召された者にとっては、キリストは神の力、神の知恵なのです。なぜなら、神の愚かさは人よりも賢く、神の弱さは人よりも強いからです」

### 2. 私たちの応答

- (1) 苦難の中の慰め
- (2) 信者の行動原則
  - ① 神への従順
  - ② 他者への愛

## (3) ピリピ 2 : 5~11

「あなたがたの間では、そのような心構えでいなさい。それはキリスト・イエスのうちにも見られるものです。キリストは神の御姿である方なのに、神のあり方を捨てられないとは考えず、ご自分を無にして、仕える者の姿をとり、人間と同じようになられました。人としての性質をもって現れ、自分を卑しくし、死にまで従い、実に十字架の死にまでも従われました。それゆえ神は、この方を高く上げて、すべての名にまさる名をお与えになりました。それは、イエスの御名によって、天にあるもの、地にあるもの、地の下にあるもののすべてが、ひざをかかめ、すべての口が、『イエス・キリストは主である』と告白して、父なる神がほめたたえられるためです」

## 十字架のことば (2) —第1のことば：赦しの祈り—

ルカ 23：32～34

### 1. はじめに

(1) 「十字架のことば」には7つある。

①前半：午前9時から正午までの間の3時間

\*3つのことば

\*他人に関するものである。

②後半：正午から午後3時までの間の3時間

\*4つのことば

\*自分に関するものである。

(2) 第1のことばは、赦しの祈りである。

①十字架を負って刑場に（「どくろ」と呼ばれている場所）着いた。

②イエスの左右に、犯罪人が十字架につけられた。

③その時にイエスの口から出たのが、赦しの祈りである。

「そのとき、イエスはこう言われた。『父よ。彼らをお赦してください。彼らは、何をしているのか自分でわからないのです』。彼らは、くじを引いて、イエスの着物を分けた」（ルカ 23：34）

### 2. アウトライン

(1) この祈りと旧約聖書の関係は？

(2) この祈りは、誰のためのものか？

(3) この祈りは、聞かれたのか？

## Ⅰ. この祈りと旧約聖書の関係は？

### 3. 結論：この祈りの現代的意味

このメッセージは、第1のことばの意味について考えるものである。

## Ⅰ. この祈りと旧約聖書の関係は？

### 1. 敵に関する代表的な祈りは、復讐を求める祈りである。

#### (1) 詩篇 137：7～9

「【主】よ。エルサレムの日に、「破壊せよ、破壊せよ、その基までも」と言ったエドムの子らを思い出してください。バビロンの娘よ。荒れ果てた者よ。おまえの私たちへの仕打ちを、おまえに仕返しする人は、なんと幸いなことよ。おまえの子どもたちを捕らえ、岩に打ちつける人は、なんと幸いなことよ」

#### (2) エレミヤ 15：15

「【主】よ。あなたをご存じです。私を思い出し、私を顧み、私を追う者たちに復讐してください。あなたの御怒りをおそくして、私を取り去らないでください。私があなたのためにそしりを受けているのを、知ってください」

#### (3) 個人的復讐心から出たものではなく、神の義を求める祈りである。

①義に飢え渴く度合いによって、この種の祈りに対する応答の度合いが決まる。

### 2. 旧約的な意味からいえば、十字架に付けられた罪人は、こう祈るべきである。

(1) 「私の死が、私のすべての罪を贖うものとなりますように」

### 3. イエスの祈りの特殊性

- (1) 復讐を求めたものではない。
- (2) 敵のために祈った。
- (3) イザヤ 53：12 の成就である。

「それゆえ、わたしは、多くの人々を彼に分け与え、彼は強者たちを分捕り物としてわかちとる。彼が自分のいのちを死に明け渡し、そむいた人たちとともに数えられたからである。彼は多くの人の罪を負い、そむいた人たちのためにとりなしをする」

## II. この祈りは、誰のためのものか？

### 1. 敵のための祈り

- (1) イスカリオテのユダ
  - ① 貪欲が彼を支配していた。
  - ② 銀貨 30 枚でイエスを売り渡した（奴隷の値段）。
- (2) 祭司やパリサイ人
  - ① 妬み
  - ② 自己義認
- (3) ピラト
  - ① 自己保身
  - ② 恐れ

### 2. ローマ兵たちのための祈り

- (1) 上官の命令を実行しているだけである。
  - ①自分たちの取り分を、さっさと取っている。

### 3. 群衆のための祈り

- (1) 彼らは、赦される必要性を感じていない人々である。
  - ①ご利益信仰
  - ②政治的メシア像

### 4. 祈りの根拠

- (1) 無知
  - 「彼らは、何をしているのか自分でわからないのです」
- (2) ローマ兵は、イエスが十字架に付けられている深い背景は、理解していない。
- (3) ユダヤの指導者たちは、イエスが無罪であることを知っていた。
  - ①しかし、イエスを拒否する罪の重大性を理解していない。
- (4) 群衆は、指導者たちの判断の影響を受けている人々である。
- (5) 使徒 3：17
  - 「ですから、兄弟たち。私は知っています。あなたがたは、自分たちの指導者たちと同様に、無知のためにそのような行いをしたのです」



(6) 1コリント 2：8

「この知恵を、この世の支配者たちは、だれひとりとして悟りませんでした。もし悟っていたら、栄光の主を十字架につけはしなかったでしょう」

(7) 1テモテ 1：13

「私は以前は、神をけがす者、迫害する者、暴力をふるう者でした。それでも、信じていないときに知らないでしたことなので、あわれみを受けたのです」

### Ⅲ. この祈りは、聞かれたのか？

#### 1. 仲介者としての祈りである。

(1) 「父よ」という呼びかけ。

① 「私たちの父」ではなく、「父」である。

② 御父と御子の親密な関係を表している。

#### 2. この祈りは、自らが死ぬことによって聞かれた。

(1) 死の中にあっても、イエスは無力ではない。

① 人々を父なる神と和解させる力を持っている。

#### 3. 赦しを受けるためには、信仰による応答が必要である。

(1) 使徒 2：38

「そこでペテロは彼らに答えた。『悔い改めなさい。そして、それぞれ罪を

赦していただくために、イエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。そうすれば、賜物として聖霊を受けるでしょう』

(2) 信仰による応答をするためには、自分もそこにいる必要がある。

①私もまた、十字架を見上げる群衆の中にいた。

## 結 論：この祈りの現代的意味

### 1. 国際関係における赦しの問題

### 2. 人間関係における赦しの問題

(1) 信仰の成長

①知的理解の成長

②人間関係の成長

(2) マタイ 6：14～15

「もし人の罪を赦すなら、あなたがたの天の父もあなたがたを赦してください。しかし、人を赦さないなら、あなたがたの父もあなたがたの罪をお赦しになりません」

### 3. 反ユダヤ主義の問題

(1) マタイ 27：25

「すると、民衆はみな答えて言った。『その人の血は、私たちや子どもたち

の上にかかってもいい』」

(2) イエスの祈りは、マタイ 27：25 の言葉を帳消しにした。

#### 4. キリストの弟子としての心構え

(1) 使徒 7：59～60

「こうして彼らがステパノに石を投げつけていると、ステパノは主を呼んで、こう言った。『主イエスよ。私の霊をお受けください』。そして、ひざまずいて、大声でこう叫んだ。『主よ。この罪を彼らに負わせないでください』。こう言って、眠りについた」

(2) 1コリント 11：1

「私がキリストを見ならっているように、あなたがたも私を見ならってください」



**【MEMO】**

## 十字架のことば (3) —第2のことば：救いを約束することば—

ルカ 23：35～43

### 1. はじめに

(1) 「十字架のことば」には7つある。

①前半：午前9時から正午までの間の3時間

\*3つのことば

\*他人に関するものである。

②後半：正午から午後3時までの間の3時間

\*4つのことば

\*自分に関するものである。

(2) 第1のことばは、赦しの祈りである。

「父よ。彼らをお赦してください。彼らは、何をしているのか自分でわからないのです」(ルカ 23：34)

(3) 第2のことばは、救いを約束することばである。

「まことに、あなたに告げます。あなたはきょう、わたしとともにパラダイスにいます」(ルカ 23：43)

### 2. アウトライン

(1) 十字架を取り巻く人々

(2) 十字架に付けられたイエス

(3) イエスを見る2つの目—①不信仰の目

(4) イエスを見る2つの目—②信仰の目

### 3. 結論：このことばの現代的意味

このメッセージは、第2のことばの意味について考えるものである。

## 1. 十字架を取り巻く人々

### 1. 民衆

「民衆はそばに立ってながめていた」(ルカ 35 節 a)

(1) 過越の祭りのためにエルサレムに来ていた。

① ぼうかんしゃ 傍観者、やじうま 野次馬

(2) リーダーコンプレックスを持った者たち

① 状況に流されやすい者たち

② 彼らの多くが、その数日前に、イエスを熱狂的に歓迎した人々である。

### 2. 指導者たち

「指導者たちもあざ笑って言った。『あれは他人を救った。もし、神のキリストで、選ばれた者なら、自分を救ってみろ』」(ルカ 35 節 b)

(1) 指導者たちとは、祭司、長老、律法学者、などである。

① 彼らの判断で、国の方向性、運命が変わる。

(2) 彼らは、イエスをあざ笑った。

① 彼らは一度も、直接イエスに呼びかけていない。

② イエスを第三者として扱っている。

(3) 2重のアイロニー（皮肉、当てこすり）がある。

①自分を救ってくださる方を、あざ笑っている。

②あざけりの言葉は、サタンの的である。

③もし、本当にメシアであるなら、自分を救わせたらよい。

(Let him save himself.)

(4) 荒野の誘惑でのサタンの言葉

①「あなたが神の子なら、この石がパンになるように、命じなさい」（マタ 4：3）

②「あなたが神の子なら、下に身を投げてみなさい。『神は御使いたちに命じて、その手にあなたをささえさせ、あなたの足が石に打ち当たることのないようにされる』と書いてありますから」（マタ 4：6）

### 3. 兵士たち

「兵士たちもイエスをあざけり、そばに寄って来て、酸いぶどう酒を差し出し、『ユダヤ人の王なら、自分を救え』と言った」（ルカ 36～37 節）

(1) 酸いぶどう酒は、喉の渴きを癒し、鎮痛効果をもたらす。

①これは、憐みの行為のように見える。

②しかし、兵士たちは「あざけり」の行為の中でこれを行っている。

(2) これは、預言の成就となっている。

「彼らは私の食物の代わりに、苦味を与え、私が渴いたときには酢を飲ませました」（詩 69：21）

(3) 「ユダヤ人の王なら、自分を救え」と言った。

## II. 十字架に付けられたイエス

- ①これは、イエスの罪状である。
- ②これを材料に、イエスをあざけた。
- ③ローマ兵たちには、統治しにくいユダヤ人への反発があった。
- ④彼らの場合は、イエスに向かって言葉を発している。

## II. 十字架に付けられたイエス

### 1. イエスの犠牲を思え

#### (1) イエスの受肉

- ①イエスの辱めは、誕生の時から始まっている。
- ②神のしもべとしてのイエス

#### (2) 十字架は、辱めのクライマックスである。

- ①イエスは、罪人の間に数えられた。

### 2. イエスの力を思え

#### (1) イエスは、死に行く途上においても、人を救うことができた。

- ①十字架上の第一のことばは、「赦しの祈り」であった。

### 3. 十字架の皮肉を思え

#### (1) あざけりは、十字架刑の苦痛の一部である。

- ①そこにいた人たちは、もしメシアなら自分を救えと言った。
- ②もしイエスが自分を救ったなら、人類を救うことができなくなる。



③もしイエスが十字架から降りたなら、メシアではないことになる。

(2) 『『これはユダヤ人の王』と書いた札もイエスの頭上に掲げてあった』(ルカ 38 節)

①これは罪状書きである。

②ヘブル語、ラテン語、ギリシヤ語で書いてあった (ヨハ 19 : 20)。

③そこにいた人たちは、王が殺され、その王国を失おうとしている、と考えた。

④しかしイエスは、死ぬことを通して、全人類の王になろうとされた。

### Ⅲ. イエスを見る 2 つの目—①不信仰の目

#### 1. 真理が見えていない目

「十字架にかけられていた犯罪人のひとりはいエスに悪口を言い、『あなたはキリストではないか。自分と私たちを救え』と言った」(ルカ 39 節)。

(1) 悪口を繰り返した。

(2) 「あなたはキリストではないか」は、肯定的答えを想定した質問である。

①一見、信仰深そうに見える。

②しかし、「自分と私たちを救え」という言葉が、彼の本心を表している。

#### 2. この犯罪人 (強盗) の問題点

(1) 彼が願っているのは、<sup>だつとく</sup>脱獄と同じレベルのことである。

### (2) ご利益信仰の限界

- ①病の癒し、困難からの脱出、繁栄の約束
- ②それが叶えられたなら、神のことは忘れてしまう。

## IV. イエスを見る 2つの目—②信仰の目

### 1. 真理が見えている目

「ところが、もうひとりのほうが答えて、彼をたしなめて言った。『おまえは神をも恐れぬのか。おまえも同じ刑罰を受けているではないか。われわれは、自分のしたことの報いを受けているのだからあたりまえだ。だがこの方は、悪いことは何もしなかったのだ』」(ルカ 40～41 節)

- (1) マタイとマルコによれば、最初は 2 人ともイエスに悪口を言っていた。
- (2) しかし、途中で彼は、悔い改めた。
  - ①赦しの祈りを聞いた。
  - ②黙って苦痛と辱めに耐えているイエスの姿を見た。
  - ③相棒の醜<sup>みにく</sup>い姿の中に、自分を見た。
  - ④間もなく神の裁きの前に立つのだから、これ以上罪を重ねるなという忠告。
- (3) 彼は、「だがこの方は、悪いことは何もしなかったのだ」と言った。
  - ①イエスは、自分がメシアであると主張したので、十字架刑に処せられている。
  - ②イエスは、ご自分が主張された通り、メシアである。

## 2. 信仰告白

「イエスさま。あなたの御国の位にお着きになるときには、私を思い出してください」(ルカ 42 節)

(1) 彼の信仰の内容は、不鮮明である。

①「御国」とは、メシア的王国（千年王国）である。

②直後の祝福を期待したのか、裁きの日における祝福を期待したのかは、不明。

(2) しかし、イエスがメシアであることは明確に信じた。

①この犯罪人が、一番すぐれた信仰を発揮した。

②ユダヤ教の指導者たちよりも、すぐれた信仰

③イエスの弟子たちよりも、すぐれた信仰

## 3. イエスの回答

「まことに、あなたに告げます。あなたはきょう、わたしとともにパラダイスにいます」(ルカ 42～43 節)

(1) この犯罪人の不完全な信仰が、祝された。

①イエスは、直後の祝福を約束された。

②「きょう」とある。

(2) 「わたしとともにパラダイスにいます」

①死者の魂が行く場所は、シオール（よみ）である。

②そこは、2重構造になっており、義人の魂はシオールの祝福の場所に行く。

- ③その祝福の場所は、「アブラハムのふところ」(ルカ 16:22) と呼ばれる。
- ④そこが、パラダイスである。
- ⑤イエスの昇天によって、パラダイスは天に引き上げられた。

結 論：このことばの現代的意味

1. 決断の重要性

- (1) わずか数メートルの距離にいた 2 人の強盗の運命は、永遠に分かたれた。

2. 信仰による救い

- (1) 彼には、業による救いは不可能であった。
- (2) 彼は、信仰によって救われた。

3. 決断するのに、遅過ぎることはない。

- (1) 若い時にキリストを信じるのが最善である。
  - (2) しかし、決断するのに、遅過ぎることはない。
- (例話) 父の救い



## 十字架のことば (4) —第3のことば：愛のことば—

ヨハ 19：25～27

### 1. はじめに

(1) 「十字架のことば」には7つある。

①前半：午前9時から正午までの間の3時間

\*3つのことば

\*他人に関するものである。

②後半：正午から午後3時までの間の3時間

\*4つのことば

\*自分に関するものである。

(2) 第1のことばは、赦しの祈りである。

「父よ。彼らをお赦してください。彼らは、何をしているのか自分でわからないのです」(ルカ 23：34)

(3) 第2のことばは、救いを約束することばである。

「まことに、あなたに告げます。あなたはきょう、わたしとともにパラダイスにいます」(ルカ 23：43)

(4) 第3のことばは、愛のことばである。

「女の方。そこに、あなたの息子がいます」(ヨハ 19：26)

「そこに、あなたの母がいます」(ヨハ 19：27)

## 1. 愛の力

### 2. アウトライン

- (1) 愛の力
- (2) 愛の飛躍

### 3. 結論：このことばの現代的意味

このメッセージは、第3のことばの意味について考えるものである。

## 1. 愛の力

### 1. 憎しみの中で輝く愛

「兵士たちはこのようなことをしたが、イエスの十字架のそばには、イエスの母と母の姉妹と、クロパの妻のマリヤとマグダラのマリヤが立っていた」(25節)

- (1) 兵士たちは、4人いた。
  - ①彼らは、マニュアル通りに、イエスを十字架につけた。
  - ②彼らは、慣例通りに、イエスの着物を4分した。
  - ③ここには、無関心、残酷さ、利己心、貪欲が渦巻いている。
- (2) 十字架のそばには、婦人たちが4人いた。
  - ①イエスの母（マリア）、母の姉妹（恐らくサロメであろう）、クロパの妻のマリヤ、マグダラのマリヤ
  - ②弟子たちは逃げていたが、彼女たちは、十字架のイエスに寄り添っていた。

- ③受刑者の親族、友人は、立ち会うことを許されたか？
- ④愛は、危険を冒し、犠牲を払う。

## 2. 痛みの中で輝く愛

### (1) 子を失くす母の痛み

- ①人間が感じる最大の痛みであろう。
- ②幼子の死、友人に囲まれての死には、痛みを和らげる要因がある。
- ③しかし、人生の最盛期の死には、それがない。
- ④しかもイエスは、敵に囲まれて死に臨もうとしている。
- ⑤シメオンがマリアに語った預言が成就した。

「ご覧なさい。この子は、イスラエルの多くの人が倒れ、また、立ち上がるために定められ、また、反対を受けるしるしとして定められています。剣があなたの心さえも刺し貫くでしょう。それは多くの人の心の思いが現れるためです」 (ルカ 2：34～35)

### (2) ラケルの嘆き

- ①ラケルは、ユダヤ人の母親の象徴である。
- ②ベツレヘムで2歳以下の男の子が殺された時、ラケルは嘆き悲しんだ。  
「ラマで声がる。泣き、そして嘆き叫ぶ声。ラケルがその子らのために泣いている。ラケルは慰められることを拒んだ。子らがもういないからだ」 (マタ 2：18)
- ③これは、エレミヤ 31：15 からの引用である。  
\*バビロン捕囚に引かれていく我が子を見て、母親が嘆いている。
- ④マリアの嘆きは、イスラエルの母たちの嘆きの集大成である。

### (3) 母の痛みを見る息子の痛み

- ①イエスの肉体的苦しみは、筆舌に尽くし難い。

- ②しかし、イエスにとっては、母の痛みを見ることの方がより苦しい。
- ③精神的痛みのゆえに、肉体的痛みを忘れるほどであった。

### 3. 使命の中で輝く愛

- (1) この時、宇宙の歴史の中で、最大の出来事が起こっていた。
  - ①アダムによって墮落した人類の罪の贖い<sup>あがな</sup>がなされようとしていた。
  - ②アダムの墮落によって呪われた宇宙が、再創造に向かおうとしていた。
  - ③イエスは、宇宙大の使命を実行しておられた。
- (2) しかしイエスは、自分に最も身近な人のことを忘れてはいなかった。
  - ①この時マリアは、40代半ばから後半であろう。
  - ②この年代の婦人は、子どもの世話になるしかない。
  - ③しかし、イエスの弟たちはガリラヤにおり、まだ信者ではない。
  - ④そこでイエスは、母と弟子を結びつける。

#### (3) 第3のことば

「イエスは、母と、そばに立っている愛する弟子とを見て、母に『女の方。そこに、あなたの息子がいます』と言われた。それからその弟子に『そこに、あなたの母がいます』と言われた。その時から、この弟子は彼女を自分の家に引き取った」(26～27節)

- ①「愛する弟子」とは、ヨハネのことである。
- ②12弟子の中では、ヨハネだけが十字架のそばにいた。
- ③イエスは、母マリアを弟子ヨハネに委ねた。
  - \*これは証人たちの前で語られた遺言であり、法的効力がある。
  - \*母マリアと弟子ヨハネの間に親子関係が成立した。
- ④ヨハネにとっては、大変な特権である。
  - \*ユダヤ的文脈では、弟子たちは師を「父」と呼ぶことがあった。
  - \*師の母を自分の母とすることは、師から栄誉を受けたことになる。



⑤ 「この弟子は彼女を自分の家に引き取った」

\* ヨハネはエルサレムに住まいを持っていたのであろう。

\* マリアが死ぬまで、エルサレムに留まった。

## II. 愛の飛躍

### 1. マリアとイエスの関係の進展

(1) イエスが公生涯に入る前

①ルカ 1：35 受胎告知

②ルカ 2：19 羊飼いたちの言葉を心に納めて、思いを巡らしていた。

③ルカ 2：34～35 剣が心を刺し貫くと言われた。

④ルカ 2：48～51 イエスが 12 歳の時、エルサレムに上った。

(2) イエスが公生涯に入ってから以降

①ヨハネ 2：4

「すると、イエスは母に言われた。『あなたはわたしと何の関係があるのでしょうか。女の方。わたしの時はまだ来ていません』」

\* 「女の方」とは、敬意を込めた言葉である。

\* イエスとマリアの親子関係に制限が加わった。

②ルカ 8：19～21

「イエスのところに母と兄弟たちが来たが、群衆のためにそばへ近寄れなかった。それでイエスに、『あなたのお母さんと兄弟たちが、あなたに会おうとして、外に立っています』という知らせがあった。ところが、イエスは人々にこう答えられた。『わたしの母、わたしの兄弟たちとは、神のことばを聞いて行う人たちです』」

③ヨハネ 19：25～27

\*再び、「女の方」という呼びかけが使われた。

\*イエスの遺言は、マリアとの親子関係の断ち切りであった。

2. 血によるつながりから、愛によるつながりへ

(1) イエスが復活して以降

①使徒 1：14

「この人たちは、婦人たちやイエスの母マリヤ、およびイエスの兄弟たちとともに、みな心を合わせ、祈りに専念していた」

\*マリアは信者の群れの中の一員となっている。

\*これ以降、マリアが聖書に登場することはない。

\*彼女は、その信仰のゆえに称賛されるべきであるが、崇拜されるべきではない。

(2) 血によるつながりから、信仰によるつながりへ

①マリアはイエスを、自分の息子ではなく、主（救い主）と認識した。

結 論：このことばの現代的意味

1. 私たちへの教訓

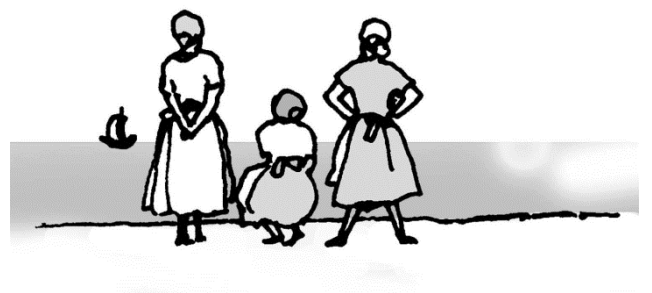
(1) 責務 vs 家族への愛

2. 新しい関係の認識

- (1) 血によるつながりではない関係
- (2) 愛によるつながりという関係
- (3) 神を父とする新しい生き方
- (4) ヨハネ 1：12

「しかし、この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、  
神の子どもとされる特権をお与えになった」

- (5) すべては変わっても、この親子関係は変わらない。



## イエス・キリストをもっと知りたい方へおススメ

CD 東京定例会 講解メッセージ・シリーズ

『メシアの生涯』第1巻～第3巻 (※以下続刊) CD10枚組 各¥5,000

メッセージ：中川健一

イエス・キリストの生涯を時間系列順に全4福音書から解説。「以前からよく読んでいた箇所なのに、こんな深い意味があったなんて、知らなかった」と驚きの声が多数寄せられています。

CD 大阪月例会 2012年1～7月収録

『新・聖書入門講座』CD6枚組 アウトライン付 ¥1,000

講師：中川健一

「人の生きる目的とは何か？」聖書から人生の目的を学ぶ。未信者の方や、ご家族の方へのプレゼントに最適！

CD 2005年フルクテンバウム博士セミナー

『ユダヤ的視点から見たメシアの生涯』CD12枚組 テキスト付 ¥8,000

講師：アーノルド・フルクテンバウム博士 通訳：中川健一

本格的な聖書研究への第一歩、入門編として最適なものです。四福音書を比較しながら、著者の意図を探って行きます。謎解きをしているような面白さがあり、聴き始めると止まらなくなります。メシアの実像が立体的に浮かび上がって来るはずです。

BOOK 聖書と合わせて読むと分かりやすい！

文庫版も発売中！

小説『日本人に贈る聖書ものがたり』(文芸社出版) 各¥2,500

第1巻『族長たちの巻』／第2巻『契約の民の巻』  
第3巻『メシアの巻』／第4巻『諸国民の巻』

「聖書はなんだか難しい…」そんな方にお勧めです。聖書の世界が小説になって、身近にわかりやすく！聖書を知らないかたでも、読みやすい内容。これを読んだら聖書が分かるようになった…と、反響をいただいています。持ち歩きに便利な文庫版も全巻登場！詳細はハーベスト・タイムへお問合せください。(※一般書店でもご購入いただけます)

【お問合せ先】ハーベスト・タイム・ミニストリーズ

〒410-1115 静岡県裾野市千福が丘 1-21-85 TEL 055-993-8880 FAX 055-993-8883

<http://www.harvesttime.tv> ※ウェブストアからもお求めいただけます